

次世代技術を活用した革新的な高速道路保全マネジメント

常に次世代を意識しながら、最新技術を生み出し、革新(イノベーション)を引き起こし、戦略的かつ自発的な仕組みによる高速道路事業の運営を実現する。



交通運用改革

- 全線常時監視による現場状況把握の効率化 ▶ 固定カメラの増設など
- 移動体監視による路面状況等把握の効率化 ▶ ドライブレコーダーからの取得など
- 災害・異常事態自動検知による事象対応の迅速化 ▶ 画像処理による検知など
- 渋滞予測の高度化(工事含む)
- 交通事故予測の高度化
- ドライバー行動変容に向けた交通需要マネジメント ▶ 多様な情報提供方法など
- 通行車両の状態把握の高度化
- 法令違反車両検出の高度化
- 落下物の自動回収
- 道路管制センターの機能強化



- 料金・サービス改革
- お客様動向把握・分析の高度化
 - 旅行快適化支援アプリによるサービス向上 ▶ スマホアプリの開発など
 - 料金収受業務の高度化



- メンテナンス改革
- 構造物等の状況把握(データ取得)の高度化 ▶ データ取得による点検の高度化など
 - 変状データ分析・維持修繕計画策定の高度化 ▶ 劣化予測など
 - 維持作業(清掃及び植栽作業)の機械化による省力化
 - 雪氷作業の機械化による省力化
 - 緊急補修オペレーションの高度化
 - 現場の作業状況把握(品質検査含む)の効率化・省力化
 - 工事規制の高度化・省力化
 - 危険予知による作業員の安全管理



- 保全マネジメント改革
- 3次元モデリングによる保全管理基盤の導入
 - 各種データ蓄積とプラットフォーム戦略による多角的分析の実現
 - 事業進捗把握の効率化
 - 設計・積算作業の効率化
 - i-MOVEMENTに則した業務プロセス体制の見直し



地域活性改革

*i-MOVEMENTの実現を目指したコンセプト的なイメージ図であり、実際に整備するものとは異なります。